

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1501006

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	19 消防・救急・防災体制の強化	事業優先度	B	
単位施策	3 消防・救急体制の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	消防施設整備事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	15 消防支署	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	消防施設整備数		#N/A	
事業目標	8箇所	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
住民参加 住民協働	2	関係例規・法令名		
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計画内容	消防施設整備事業	消防庁舎受電設備整備		消防庁舎発電機整備	消防庁舎排水工事	消防庁舎機械室ドア改修工事 消防団第1分団詰所改修工事 消防庁舎地下タンク廃棄工事	
	事業費(千円)	20,419	2,919	0	8,000	2,300	7,200
計画事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	20,419	2,919		8,000	2,300	7,200	
実績事業費	事業費(千円)	20,023	2,919	0	7,907	2,205	6,992
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	20,023	2,919		7,907	2,205	6,992	
関連事項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等) 消防庁舎受電設備整備	(実施内容等)	(実施内容等) 消防庁舎排水工事	(実施内容等) 消防庁舎機械室ドア改修工事 消防団第1分団詰所改修工事 消防庁舎地下タンク廃棄工事	
	【評価・実績】		※前年度評価結果 A-終了	※前年度評価結果 A-終了	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値	1箇所		1箇所	1箇所	3箇所
	年度達成率	100%	#DIV/0!		99%	96%	97%
	全体達成率	14%	14%		53%	64%	98%
事業進捗状況	☆☆☆☆			☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	

事業名	消防施設整備事業	評価者 管理職 職氏名	支署長	高見 雄二
		評価者 作成者 職氏名	警防係長	佐藤 和幸

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	消防施設の老朽化による設備整備及び更新	
【抱える課題やニーズは】	消防施設の老朽化等	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	消防施設を維持管理、整備及び更新することにより、防災拠点としての機能を充実させる。	① 機械室ドア改修工事 第1分団詰所改修工事 地下タンク廃棄工事	目標年度	平成24年度
			目標値	その他特記事項
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	消防業務が総合的に強化され充実することにより、町民の安心、安全が保たれる。	②	実績値	その他特記事項
			達成度	
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	機械室ドア改修工事 第1分団詰所改修工事 地下タンク廃棄工事	適切な積算に基づき、可能な限りコストの削減に努め、工事をした。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	防災拠点としての消防施設及び機能は正常な状態に維持管理されなければならないため、施設の整備は必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	消防施設の機能が適正に維持管理されることにより、消防力が維持され、消防業務を円滑に行える状態が保たれている。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	適切な積算に基づき、可能な限りコスト削減に努め、工事ができた。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町民の生命、身体及び財産を守る拠点施設等の整備であり、公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

20年度 受電設備整備 100% 22年度 発電機整備 100% 23年度 排水工事 100% 24年度 機械室ドア改修工事 100% 第1分団詰所改修工事 100% 地下タンク廃棄工事 100%

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
消防施設整備は計画通り進んでいる。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
今後も消防施設の整備、更新は必要である。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止